

山本医院
院長 山本貞夫



松原市歯科医師会

コロナ感染症流行下での医療

今年度春先以降、コロナ感染症が世界的に広が
り日本でもコロナ自粛により社会生活上および医
療面でも大きな影響を与えています。残念ながら
医療面で言うと感染をなるべく避けたいとの患者
さんの思惑や考えから医療機関への受診抑制や、
薬の長期投与を望む患者さんも増えています。

また、一般社会では在宅勤務でのリモートワー
ク、医療面ではオンライン診療も増えました。オ
ンライン診療は遠隔地など身近に医療施設がない
場合にはともかく、診察というのはFace-to-Face
で、医師としての経験や医師の五感を基礎に行う
ものだと私は考えます。例えば急な胸の痛みでも
その痛みが強ければより重篤な病気、狭心症や心
筋梗塞などを頭に描き大きな不安を抱くでしょう。
この場合、直接対面していれば問診以外に診察や
触診を行えることになる訳で、胸部のある部位に
圧迫がある場合には肋間神経痛や肋間筋肉痛、ま
た中央部にピンポイントで圧痛がある場合には胸
骨関節炎などが疑われ、また水泡を伴う発症があっ
たりした場合には帯状ヘルペスの可能性も強くな
り、適切な診断が出来る訳で
す。今後もコロナ対策には換気
衛生面に留意しつつ、平常通り
のFace-to-Face診療が大事か
なと私は考えています。



高齢者の口腔ケアについて

口をきれいにケアする歯みがきは、虫歯や歯周
病の予防、そして口臭予防にもなります。これは
どの世代でも行っていることです。しかし、高齢
となられた人の口腔ケアにおいては、口の衛生を
保つ「器質的口腔ケア」と、口の機能を維持向上す
るための「機能的口腔ケア」の二つの種類のケアを
行います。これにより「誤嚥性肺炎」をはじめとす
る感染症の予防や口の老化、機能低下を予防する
口腔ケアとしての効果が発揮されます。

歯や義歯が汚れたままでは食欲がなくなり、舌
の汚れ(舌苔)が厚く付いていれば味を感じにく
くなります。舌をきれいにケアすると味覚が改善さ
れます。食前に口腔ケアをすると刺激で唾液分泌
が促され、潤いが取り戻され、味わい美味しく食
事ができるようになります。

また、口腔内や周囲のマッサージは食べるための
ウォーミングアップになり、咀嚼(そしゃく)や嚥下
(飲み込み)の働きを高め、万が一誤嚥(ごえん)しか
けた時の咳反射(むせ)を高める効果もあります。

認知症で何か月も発語がなかった人に、口腔ケ
アを施し唾液で潤う口にし、口腔周囲の筋肉の緊
張をほぐすマッサージをしたところ、表情が和ら
ぎ久しぶりに声が出たという経験がありました。
口腔ケアは口の健康や機能を保つだけでなく、食
べる喜びや、会話を楽しみ笑顔で人
と接しコミュニケーションを図るな
ど、生きる喜びや精神的にも豊かな
生活を支える目的があります。



広告募集中

広報まつばらには、広告を掲載しています。掲載のお問い合わせは、

- 広告代理店 合同会社IM 総合企画 (☎072-275-5449)
- 広告代理店 株式会社ホープ (☎092-716-1404)
- 広告代理店 株式会社宣成社 (☎06-6222-6888)
- 広告代理店 株式会社ブリーズ (☎06-6262-1101) まで。